

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム えくぼ

作成日： 令和3年12月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	・重度化や終末期に向けた方針の共有。 これまで看取りの経緯がなかったが、高齢に伴って通院も困難になり、かかりつけ医の訪問診療が可能かどうか。	終末期は、かかりつけ医機関での終末ケアを目標にしたい。かかりつけ医の訪問診療が不可能であれば、可能な医療機関に手続きを勧めたい。	利用者の高齢化、重度化が進む中、看取りに関しては、研修受講者、看護師を中心にミーティングで話し合い、将来の変化に備え、本人と家族を主体に話し合い、本人の意志決定も考慮し、かかりつけ医とのチームケアを構築していく	6 か月
2	17	・入浴を楽しむことが出来る支援。 清潔の保持を目的に、食後の午後の休憩時間に入浴をいただいているが、入浴を拒否されることもある。立位不可、職員は事故の無いように気をつけなければならない。	職員全員が、スムーズに入浴への誘導、入浴時に楽しい会話が弾み、笑顔を引き出したい。	1週間に一度、日曜日、通院の無い日曜日の午前中に入浴を試みる。当座は、楽しい雰囲気づくりの上手な職員に担当してもらい、他の職員も、利用者に、楽しい入浴時間を提供できるように心掛けるようにした。	3 か月
3	24	・職員相互の信頼関係。 日々の業務の中で、違和感を持ちながらも、常識的な対応が来ている。個人の個性が前面に強く表れることもある。	終業中は職員同士、和やかに、穏やかに、業務に励んでいきたい。	コロナが収束した後、職員同士で、お茶会、食事会を持ち、個性、考え方、家庭環境等、それぞれをよく理解できるようにした。	3 か月
4					か月
5					か月